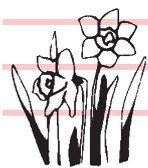


おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 71

26. 1. 25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



東 保 育 園

昭和27年4月に東小千谷地区に最初に設置された保育施設で、東小千谷地区のほぼ中心に位置しています。

当初は定員60人、木造で開所し、昭和57年3月に現在の場所へ移転、鉄筋コンクリート造りに改築されました。

平成2年に小千谷市で初めて乳児保育を開始し、現在は0歳～2歳児17人を含む53人の園児が毎日元気に通っています。

所在地：小千谷市東栄2丁目1番17号

- 第4回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P2～3
- 一般質問 …… P3～6
- 行政視察報告 …… P6～7
- 議会日誌 …… P8
- 雪あかり、編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

第4回定例会 議決結果

11月28日から12月17日まで開催し、次のとおり議決いたしました。

条例の制定・改正

- 小千谷市予防接種健康被害調査委員会条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市職員給与に関する条例等の一部改正(全会一致)
- 小千谷市道路路占用料等徴収条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市ガス供給条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市水道条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市工業用水道条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市下水道条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部改正(起立多数)
- 小千谷市火災予防条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市災害救助条例の一部改正 (全会一致)

平成25年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第5号) (全会一致)
- 小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市下水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)

その他

- 専決処分(平成25年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)市一般会計補正予算(第4号) (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(片貝総合センター)の指定管理者の指定 (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(養護老人ホーム)の指定管理者の指定 (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(堆肥センター)の指定管理者の指定 (全会一致)
- 定住自立圏形成に関する協定 (全会一致)

の変更 (全会一致)

- 小千谷市魚沼市予防接種健康被害調査委員会の共同設置の廃止 (全会一致)
- 人権擁護委員候補者(新保隆)の推薦 (起立全員同意)
- 人権擁護委員候補者(吉田京子)の推薦 (起立全員同意)

請願

- T P P交渉に関する請願 (採択)

発議

- T P P交渉に関する意見書 (全会一致)

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案14件のうち13件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、14件とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

本案は、消費税法の一部改正に伴い使用料等の改正をするものです。

○議案第97号 小千谷市工業用水道条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消費税法の一部改正に伴い、用語の定義において消費税等相当額の率等の改正をするものです。

○議案第98号 小千谷市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消費税法の一部改正に伴い使用料等の改正をするものです。

○議案第99号 小千谷市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消費税法の一部改正に伴い使用料等の改正をするものです。

○議案第100号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、消防法施行令の一部改正に伴い、条例で引用する条文の号ずれを改正するものです。

○議案第101号 小千谷市災害救助条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、災害救助法及び新潟

議会議中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から、この本会議の会議録が市議会ホームページに掲載されるまでの間ご覧いただけます。)

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

県災害救助条例の改正に伴い、条例中の文言を改正するものです。

○議案第102号 平成25年度小千谷市一般会計補正予算（第5号）について

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億531万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ187億6543万2千円とするものです。

○議案第105号 平成25年度小千谷市ガス事業会計補正予算（第2号）について

本案は、消費税率等の改正に伴う電算システム関係委託料及び職員の人事異動等に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第106号 平成25年度小千谷市水道事業会計補正予算（第2号）について

本案は、消費税率等の改正に伴う電算システム関係委託料の増額、職員の退職給与金の増額及び人事異動等に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第107号 平成25年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算（第2号）について

本案は、人事異動等に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第108号 平成25年度

小千谷市下水道事業会計補正予算（第2号）について

本案は、消費税率の改正に伴う電算システム関係委託料の増額、受益者負担金の納期前納分の増及び公共汚水ます設置工事費の増並びに職員の人事異動等に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第109号 小千谷市の公の施設（片貝総合センター）の指定管理者の指定について

本案は、片貝総合センターの現指定管理者・片貝町協議会の指定期間が、平成26年3月31日をもって満了となることに伴い、同協議会の指定について市議会の議決を求めるものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案6件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件についても慎重に審議した結果、採択すべきものと決しました。

○議案第92号 小千谷市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について

本案は、二次保健医療圏が魚沼圏域から中越圏域に変更され

ため、新たに予防接種法に基づく予防接種によって発生した健康被害を調査する委員会を単独で設置するものです。

○議案第94号 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、道路法の一部改正により国が行う事業は占用料を徴収することができないこととなったため、関係条文を改正するものです。

○議案第103号 平成25年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

本案は、職員人事異動等に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第104号 平成25年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

本案は、職員人事異動に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第110号 小千谷市の公の施設（養護老人ホーム）の指定管理者の指定について

本案は、養護老人ホームの現指定管理者・社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会の指定期間が平成26年3月31日をもって満了となることに伴い、同福祉会の指定について市議会の議決を求めるものです。

○議案第111号 小千谷市の公の施設（堆肥センター）の指定管理者の指定について

本案は、堆肥センターの現指定管理者・越後おぢや農業協同組合の指定期間が平成26年3月31日をもって満了となることに伴い、同協同組合の指定について市議会の議決を求めるものです。

○請願第6号 TPP交渉に関する請願

本請願は、①TPP交渉にあたって、農林水産分野の重要5品目等の聖域が確保できないと判断した場合、即刻交渉から脱退すること。②TPP交渉及び日米二国間の並行協議について、情報開示の徹底と十分な国民的議論を実施することを意見書として政府に提出していただきたいと言うものです。



市政の内容を聞く

一般質問

谷病跡地・市長進退・
交流物産館・高齢者
免許返納制度

本田 剛 議員

小千谷病院跡地活性化と市長進退について

質問 小千谷病院跡地の活用によって、中心市街地の活性化につなげることができるのではないか。

答弁 都市計画マスタープラン等との整合を図り、情報収集を行い商工会議所、本町商店街振興組合などと意見交換し検討したい。

質問 市長は3期目を目指し、この問題の計画構想を発表する

のか。
答弁 任期に関係なく、早い時期に方向が決まることが望ましいと考える。



小千谷総合病院

交流物産館の設立について

質問 地域連携の促進、活性化のため、交通量の多い沿道を利点に道路利用者と地域振興の双方を考え、地元はもちろん観光客などと呼び寄せる交流物産館を造ってはどうか。

答弁 物産館はサンプラザがこれにあたる。売上額のみならず来訪者も増加している。ちぢみの里にもあり、来訪者との交流、PR及び販売を積極的に進めており既存施設を有効に活用していく。

質問 高齢者免許返納制度推進について
答弁 高齢化が進み、高齢者が

運転する車の事故が多くなっていて近年、事故防止にもつながる免許返納制度を創設し支援できないか。

答弁 高齢者でも個々の運転能力は異なり、70歳以上の方は更新の際に実車運転を含む講習、75歳以上の方はさらに認知機能検査を実施している。個人の判断を尊重したいと考え支援制度は考えていない。公共交通確保のための補助を行っている。

原子力災害対策・防災訓練について

久保田陽一 議員

質問 原子力災害防災訓練がいまだに実施されない理由は。

答弁 県から広域避難の具体的な避難経路・避難先等が示された後、秋頃予定していた県の原子力防災訓練とあわせて実施予定だったが、県が今年度の実施を急遽見送ったことにより、当市単独での実施に伴う訓練内容の変更や実施時期の再調整が必要になったため。

質問 原子力防災訓練をいつ、どのような内容で行うのか。
答弁 平成26年3月中に実施し

たい。訓練内容は全市民を対象に、緊急告知ラジオや今年度導入した緊急情報メールの配信等を活用した情報伝達及び避難支援を行う自主防災組織との連絡など、避難対応における初動時の基本的な手順確認を中心に実施したい。

質問 隣接自治体や県内で想定するべき自治体と避難に関する協定等の協議を行っているのか。
答弁 市町村による原子力安全研究会で取りまとめた実効性のある避難計画が、自治体間の避難に関する協力についての調整の役割を果たしているため別個の自治体間協議を行う必要はないと考える。

質問 災害協定を結んでいる杉並区等県外への避難も想定しているのか。



柏崎刈羽原子力発電所

質問 災害協定を結んでいる杉並区等県外への避難も想定しているのか。

答弁 地域防災計画では県外への避難も想定している。また、杉並区等と締結した協定では被災者の受入れ施設の提供やあつせんもあり避難先の候補地である。

質問 国や県への避難経路の道路等のインフラ整備の要望は。
答弁 従来からの国道・県道整備要望では災害避難路としての重要性を強調し、早期対応を求めている。

人口減高齢化社会における市民サービス

長谷川有理 議員

質問 市役所総合案内係の設置、手話通訳者・要約筆記者の配置、市職員への認知症サポーター養成講座を。

答弁 設置しない。日常業務で当市職員は対応できている。
質問 高齢者や障がい者に対する配慮を高め、更に市民サービスの改善をすべきでは。
答弁 不便があれば言っていたら改善する。

質問 介護保険制度予防給付の市町村事業への移行対策を。
答弁 国から詳細が示されているので、答えられない。



質問 介護保険ニーズ調査で75歳・80歳の調査票記入は実態を反映しないのでは。聞き取りなど訪問調査も検討すべき。

答弁 訪問調査は行わない。
質問 当市での公共施設の建て替え・改修・新設の計画は。

答弁 時期を捉え議会で説明する。計画策定の際は、市民ニーズを的確に判断し、スリム化やコストカット等も念頭に置く。

質問 信濃川河川公園の洪水被害で洪水対策規程にのっとった対応がとれたのか。冠水を前提とした公園整備や空き地を取得しての都市公園開設や水辺の公園への転換も考慮すべきでは。

答弁 規程に基づき対応したが、工作物の一部を撤去できなかった。

質問 信濃川河川公園洪水対策

規程の見直しが必要ではないか。

答弁 浸水速度の見直しは間違っていた。教訓として適切に対応したい。

質問 当市の都市公園は人口比率に対して充足していない。東小千谷に設置される予定の防災公園のあり方も含めて市民視点の公園づくりを。

答弁 当市で、もっと公園を作らなければいけないかということには、疑問を持っている。

農業(稲作)問題と 新病院建設状況について

田中 淳 議員

質問 減反政策の見直しが発表されたが、市長は当市の稲作産業が確固たる基盤を築くために、

どういった施策をお持ちか。

答弁 国の農業政策の見直しに対応するため、越後おぢや農業協同組合とは、担当者ベースで協議を始めたところである。関係する協議会等とも調整を図りながら、農業政策に対応していきたい。コメの販売についてはいろいろなルートがあるから、

それを生かしていければと思う。
質問 具体的には何か販路拡大について考えをお持ちか。
答弁 良いものを安く作って高く売るといことだが、今後の施策については今までより早いスピードで進めていく必要があるが、販路については特に持っていない。



質問 新病院建設に向けての現状と今後の予定について、できるだけ具体的にお聞かせ願う。

答弁 今年度末を目前に土地収用法に関する事業認定を受け、平成26年の上半期を目前に病院開設計画書に基づく開設許可申請を行い、3か月程度で許可を受けるとともに、その他の一連の許可を受けた後、夏季頃には用地の売買契約を締結したい。建物の工事期間は概ね22か月を予定しており、平成26年下半年

に着工し、平成28年の夏頃竣工後、使用許可を受け引越し作業を行う予定と伺っている。
質問 予定地の排水計画や交通量の変化に伴う、県道の改良工事の予定はどうか。
答弁 排水については県との調整はしている。県道の改良についても、現在県と交渉中である。

特定秘密保護法などについて

風間 健一 議員

特定秘密保護法について

質問 人権・民主主義・平和を踏みしめる秘密保護法が6日深夜の参院本会議で、自民・公明の強行採決で成立しました。秘密保護法は憲法違反の法案であり「廃案」「慎重審議」を求める国民世論が日増しに広がる中で市長の見解を伺います。

答弁 国の法律なので詳述しないが、国の外交とか防衛に関することについては、こういう法令も必要であろうというふうには思っている。また、運用に関しては国民の不安を払拭するようにしていただきたい。

コメの生産調整(減反)廃止について
質問 自・公政権はTPPを前提として「米の生産調整」政策をやめ、米の需給と価格を市場にゆだねようとしています。稲作農家や農事組合法人からは「生産調整をやめて市場任せにすれば米価はもつと下がる」「生産組合は設備投資や運営の見通しが立たなくなる」など不安の声が上がっています。国に対しTPP参加中止と、「米生産調整」廃止をしないよう要請していただきたい。

助成制度の拡充について

山賀 一雄 議員

質問 厚生労働省は要支援1、2の人に対する訪問介護と通所介護を介護保険制度からはずし、市町村に丸投げし、サービスの切り下げや利用者の負担に任せようとしています。国に訪問介護と通所介護を今までどおり、国の介護保険制度の中で行うよう要請していただきたい。
答弁 これまでそのように要請してきましたし、これからも要請していきたい。

これまでの市政運営はそれなりに評価するが、数多くある助成制度の中には、公正・公平の面から、もう少し配慮あるいは拡充すべきものもある。
質問 介護タクシーと言われる在宅高齢者通院等支援サービス実施要綱について、タクシー利用券の交付は一律でなく、対象者の住んでいる地域の距離に応じて利用券交付の加算があつて然るべきと考えるが、市長の見解を伺う。

質問 厚生労働省は要支援1、2の人に対する訪問介護と通所介護を介護保険制度からはずし、市町村に丸投げし、サービスの切り下げや利用者の負担に任せようとしています。国に訪問介護と通所介護を今までどおり、国の介護保険制度の中で行うよう要請していただきたい。
答弁 これまでそのように要請してきましたし、これからも要請していきたい。

質問 介護タクシーと言われる在宅高齢者通院等支援サービス実施要綱について、タクシー利用券の交付は一律でなく、対象者の住んでいる地域の距離に応じて利用券交付の加算があつて然るべきと考えるが、市長の見解を伺う。

は、補助金の対象ではないが、近年の豪雪が続く状況の中にあつては、補助対象経費等について検討したい。

当市の安心安全なまちづくりについて

阿部 正行 議員

質問 土砂災害と雪崩対策について

答弁 土砂災害に関しては、国、県と協力し基礎調査を行い、住民に説明理解を求め、雪崩については予防柵等の対策工事の実施やパトロールの強化に努める。危険の時は緊急告知ラジオ、エリアメール等活用する。

質問 緊急医療体制について

答弁 医師確保については厚生連、小千谷総合病院と連携し大卒に働きかけている。新病院は地域完結型の医療体制とし長岡3病院、魚沼基幹病院と連携する。支援策は今後事業計画が明らかになってから議会に相談する。

質問 交通事故対策について

答弁 現在12月20日まで事故防止運動期間であり広報活動、警察署によるパトロールを実施し

事故防止の啓発に努めている。

質問 犯罪対策について

答弁 特に振り込め詐欺は巧妙になってきており、警察署、防犯協会、金融機関等関係機関と連携を強化する。

質問 原子力災害対策について

答弁 当市は災害時にはほぼ全域が国の指定するUPZに入り基本は屋内退避。市外の避難には町内単位で移動する。また、訓練については平成26年3月中旬に実施予定である。

質問 幸福度指標について

答弁 幸福度は市民一人一人によって違い、一概には判断できないが内閣府では経済状況、健康、社会全般の関係性の3つを指標化している。当市では新潟大学の指導のもとソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の調査研究・測定に向けて検討を始めたところである。

会議録の閲覧

(平成25年度) 会議録の閲覧は、本ホームページからダウンロードいただけます。(平成25年度) 会議録の閲覧は、本ホームページからダウンロードいただけます。

URL

<http://www.city.ojya.niigata.jp/>

行政視察

報告

総務文教委員会

平成25年10月8日～10日

原子力防災訓練・災害時相互応援協定について

佐賀県伊万里市

原発の安全神話が崩壊した今日、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所から30kmの範囲に位置する当市が、原子力防災訓練を実施するにあたり、位置関係も類似する伊万里市の現況を視察し、計画の見直しや訓練実施の参考とする目的で行った。

佐賀県では平成24年10月28日に佐賀県、玄海町、唐津市及び伊万里市の主催で、佐賀県原子力防災訓練を行っているが、これとは別に「伊万里市原子力防災訓練」を実施している。また、県及び県内の市町との防災協定締結に期待される効果として、災害時の円滑な応援・受援に寄与。県、市町相互の災害時・平

時の協力関係や相互扶助意識の深化。いざというときに応援が得られるという安心感などがあげられている。

避難先を事前に把握しておくことが必要であり、インフラ整備費や要支援者の避難方法など、国の出先機関や業界団体、法人等とも意識を共有しながら訓練の計画、実施をする必要があると認識した。

青少年アンビシャス運動事業について

福岡県太宰府市

豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つ(アンビシャス)、これらを中心にとくましい青少年の育成を目指す福岡県の県民運動で、当時の県知事の肝入りで平成13年度から始まった。アンビシャス運動の3原則として、「誉めて伸ばそう」「自主的参加」「交流・連携」を掲げ活動している。

青少年問題を整理すると、少年犯罪の低年齢化、いじめ、規範意識の低下、コミュニケーション能力の低下、自立心の欠如などがあげられている。

当時の県担当職員が退職後に地元の太宰府市国分地区で運動

の中核となるアンビシャス広場の運営を行っていた。子どもはアンビシャス運動に参加することにより、自ら考え、同年だけではなく、先輩、後輩が交わることで、人間関係にも配慮できる子どもに成長していると感じた。小千谷市でも、このような子どもも自主性に任せ、子ども自身で動き、自立心を育む取り組みも必要であると感じた。



民生産業委員会

平成25年10月2日～4日

高台移転、商店街等商業振興、道路等インフラ復旧復興について

岩手県釜石市

平成23年発生の中日本大震災から2年余り経過したが、その復旧、復興状況について高台移転、商店街等商業振興などに

- 〔10月〕
- 2日 民生産業委員会行政視察
に出発（岩手県釜石市・青森県六ヶ所村）
 - 7日 議会報編集委員会
 - 8日 総務文教委員会行政視察
に出発（佐賀県伊万里市・福岡県太宰府市）
 - 11日 宮城県石巻市議会行政視察
に来市
 - 15日 議会報編集委員会
 - 23日 中越大震災9周年
おぢや10・23のつどい
 - 24日 神奈川県大和市議会行政視察
に来市
 - 31日 全国高速自動車道市議会
協議会理事会（東京都）
- 〔11月〕
- 5日 議会運営委員会行政視察
に出発（長野県上田市・小布施町）
 - 8日 長野県須坂市議会行政視察
に来市
 - 15日 中越地区市議会議長会
（南魚沼市）
 - 18日 全国市議会議長会建設運輸委員会（東京都）
 - 19日 民生産業委員協議会
 - 21日 議会運営委員会
 - 26日 総務文教委員会・教育委

員学校訪問及び市当局との懇談会

28日 第4回定例会（本会議）

〃 議会報編集委員会

29日 常任委員会連合審査会

〔12月〕

2日 総務文教委員会

3日 民生産業委員会

12日 議会運営委員会

〃 本会議（第2日）

〃 議会報編集委員会

17日 議会運営委員会

〃 本会議（第3日）

市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会開催予定

- 2月26日(水) 第1日 議案上程説明
- 2月27日(木)～3月5日(水) 各常任委員会で審査
- 3月13日(木) 第2日 一般質問
- 3月14日(金) 予備日 一般質問（質問者が多い場合に開催）
- 3月18日(火) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（☎83-3505）へお問い合わせください。また、議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

私はいま片貝町で生まれ育ち、現在は片貝町で石材業の仕事をしております。

石材と言われるだけでも、普段目にする物や思い付く物は少ないかもしれませんが、墓石や鳥居、石庭や灯籠、また建築材料としても様々な場所で使用されています。それだけではなく、石像などの美術、工芸品として人の心を楽しませたり、モニユメントとして人や物事の記念に、または慰霊のためなど、私たちの生活において多くの役割を果たすために活用されています。

このように幅広く活用されている石材ですが、私たちの身近にある石材の一つとして「墓石」があるかと思えます。墓石は故人の供養をするためや、葬られ



諸我 和成（一之町一区）



た人の生没年、名前などを知る歴史的な史料としての役割もあります。その墓石を建てる理由として私は、先祖の存在や育ててくれた親などの親しい故人への「感謝と思いやりの心」であると思っています。

私は仕事以外に消防団や青年会議所など、幾つかの団体に参加し活動をしています。その中で出会えた仲間、そして家族や友人、仕事でお世話になった方々など、自分が生きていく上で関わる多くの人達と共存するために互いの考え方を理解し、互いに助け合うことは大切だと思います。このように共に協力し合う人達に「感謝と思いやりの心」を思いながら、これからも活発に活動していきたいと思っています。

編集後記

あけましておめでとうございます。新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい一年でありますよう、お祈り申し上げます。

新年は、穏やかに始まりましたが、やはり雪国小千谷です。10日過ぎから本格的に雪が降り始めました。今後の積雪が心配です。屋根の雪下ろし、除雪時等の事故にはくれぐれもご注意ください。また、車道が狭くなったり、路面が凍結することもあります。交通事故にもご注意ください。そして、4年続きの災害救助法適用だけは避けて欲しいと願っております。

今年、市制施行60周年となります。3月10日には記念式典が予定されております。また、中越大震災からは、10年となります。小千谷市がより住みやすい市となりますよう、議員として精一杯頑張っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

